

Q&A

緩徐に増大している食道粘膜下腫瘍の1例

丸山 傑 河川 賀彦 庄田 勝俊
市川 大輔¹⁾

【問題】

症例：60歳代，女性。

主訴：検診異常。

病歴：X-5年に検診の上部消化管内視鏡検査にて，切歯より29cmの胸部中部食道に10mm大の食道粘膜下腫瘍を指摘され，以降経過観察されていた。緩徐に増大し，X年に30mm大となったため，精査加療目的に当科紹介となった。

既往歴：虫垂炎にて9歳で虫垂切除術，60歳か

ら脂質異常症。

生活歴：喫煙歴なし，飲酒歴なし。

身体所見：身長161cm，体重53kg，腹部平坦軟，腫瘤圧痛抵抗なし。

血液検査所見：WBC 5550/ μ l，Hb 13.5g/dl，Plt 26.6×10^4 / μ l，TP 7.7g/dl，Alb 4.6g/dl，AST 19IU/L，ALT 13IU/L， γ -GT 21IU/L，BUN 17.9mg/dl，Cre 0.54mg/dl，Na 140mEq/L，K 4.0mEq/L，Cl 105mEq/L，CRP <0.1mg/dl，CEA 0.5ng/mL，SCC 0.63ng/mL。

画像所見：上部消化管内視鏡検査所見，超音波

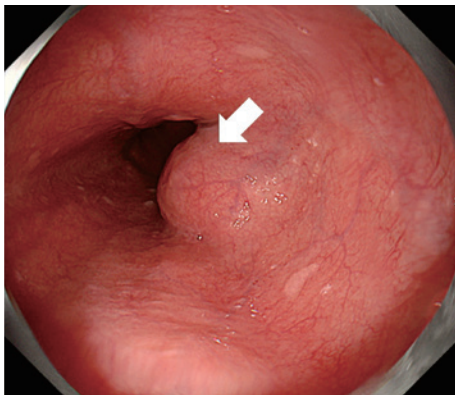


Figure 1. 上部消化管内視鏡検査所見.

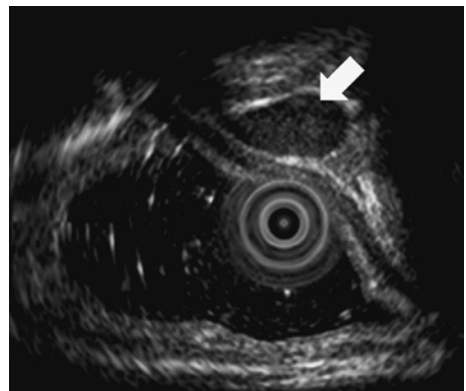


Figure 2. 超音波内視鏡検査所見.

1) 山梨大学第一外科

A case of a slowly enlarging esophageal submucosal tumor

Suguru MARUYAMA, Yoshihiko KAWAGUCHI, Katsutoshi SHODA and Daisuke ICHIKAWA¹⁾

1) First Department of Surgery, University of Yamanashi

Corresponding author: 市川 大輔 (dichikawa@yamanashi.ac.jp)

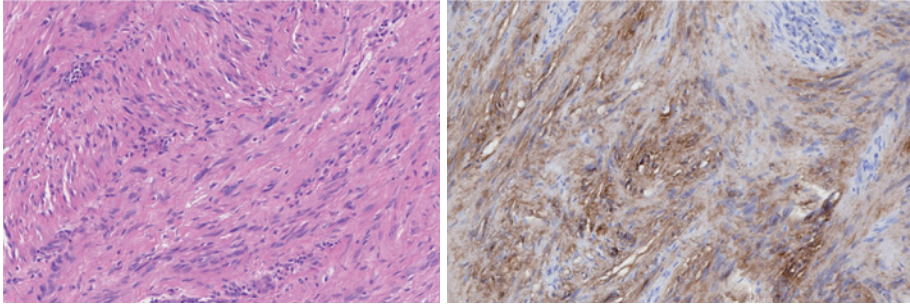


Figure 3. EUS-FNA. 左：HE 染色（40 倍）. 紡錘形細胞の増殖. 右：S-100 染色（40 倍）. S-100 染色陽性.

内視鏡検査所見, EUS-FNA, 造影 CT 検査所見を示す (Figure 1~4).

診断は何か？ 治療方針を述べよ.

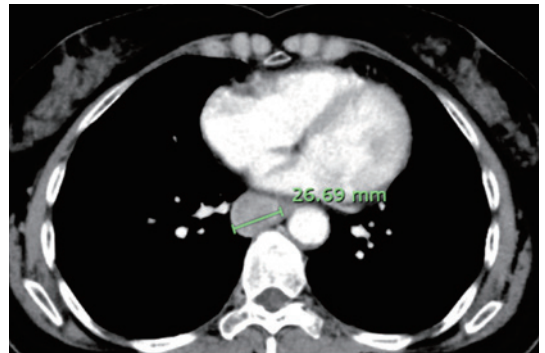


Figure 4. 造影 CT 検査所見.